



地震避難ゲーム学校バージョンを試す

●はじめに

私達は、6月29日に避難訓練を行いました。今回の避難訓練をする前に、3年生の竹内さんが作った「地震避難ゲーム」を取り組みました。クラスで楽しく盛り上がったようでした。このような防災学習もあっていいと思います。

今回の避難訓練の目的は、避難経路を確認して、安全を確認しながら、全員が無事避難することができることでした。今年、仮設校舎が建ち、災害が起きた時の基本避難経路が一年生は変わりましたが、全員が素早く避難できていました。

振り返りアンケートの有効回答数は460件、回答率95%です。

1 振り返りアンケートからの考察

5. 訓練に真剣に取り組むことができましたか？

詳細 [インサイト](#)

できた	353
だいたいできた	107
あまりできなかった	6
できなかった	3

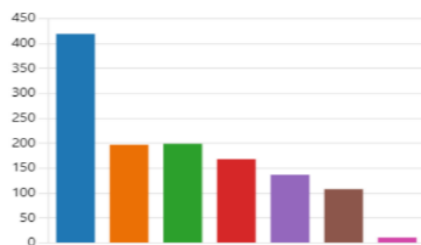


●避難訓練に真剣に取り組むことができたか
98%のみなさんが「できた」という肯定的な回答を得ました。「できなかった」という人は2%と去年よりも少ない結果となりました。今年较去年と違ってできなかったことが少なく、かなり多くの生徒が避難訓練をしっかりと取り組むことができたことが分かりました。

7. あなたにとって心配な災害は何ですか？

詳細

地震・津波	419
大雨・洪水・台風	197
火事	199
土砂崩れ	168
暴風・竜巻	137
高潮	108
その他	11



●あなたにとって心配な災害は何か
地震・津波が一番。しかし、2番目が火事となりました。地震後の二次災害で火事がおこる可能性があるのと、火事は、身の回りでいつ起きてもおかしくないからだと考えます。

8. 南海トラフ巨大地震が来ても、自分やおうちは大丈夫だと思いますか？

詳細 [インサイト](#)

そう思う	32
思う	79
あまり思わない	271
思わない	86



9. 前問で「そう思う」、「思う」と答えた人で、一番近い理由を選んでください。

詳細 [インサイト](#)

まだ地震は来ないと思うから	22
身体が丈夫なので、ケガなどしない...	9
十分な学習や備えを行っているから	62
その他	18



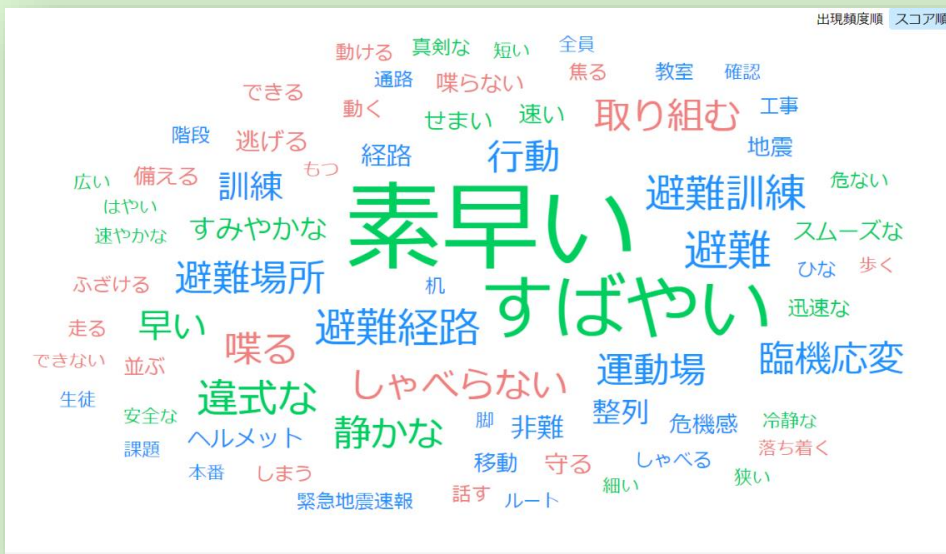
●南海トラフ巨大地震が来て、自分やおうちは大丈夫だと思いますか？

78%のみなさんが、「心配」であるとの回答がありましたが、22%のみなさんが、「大丈夫だ」と回答しました。その理由をみてみると、「十分な学習や備えを行っているから」という回答が56%ありました。また、「おうちが新しく耐震建築になっている」という回答もありました。

AIによる分析では、「大丈夫だ」と回答している人は、真剣に訓練ができていない、今後防災について考えていこうと思っていない傾向があるという分析結果が出ました。また、南海トラフ巨大地震が来て「心配」であると回答した人が昨年と比べて、増加しているのにより南海トラフ巨大地震の規模や危機感を持っている人が増えたと思われます。昨年より多くの人が災害を意識しているのは、とても嬉しいことです。

一方、まだ「大丈夫だ」と思っている人がいるので、これからも災害の恐ろしさ・防災に対する意識を持ってもらう必要があります。

2 みなさんから寄せられた意見をテキストマイニングやAIを使って分析



●今回の避難訓練でできた。よかったことの記述では、「避難経路を理解できた」「迅速に避難することができた」「静かに行動することができた」という回答が多かったです。

大部分の生徒がこの先30年以内に起こる可能性がある南海トラフ巨大地震への「一人一人が対策しなければならない」という防災意識を持ち、真剣に取り組むことができたと考えられます。

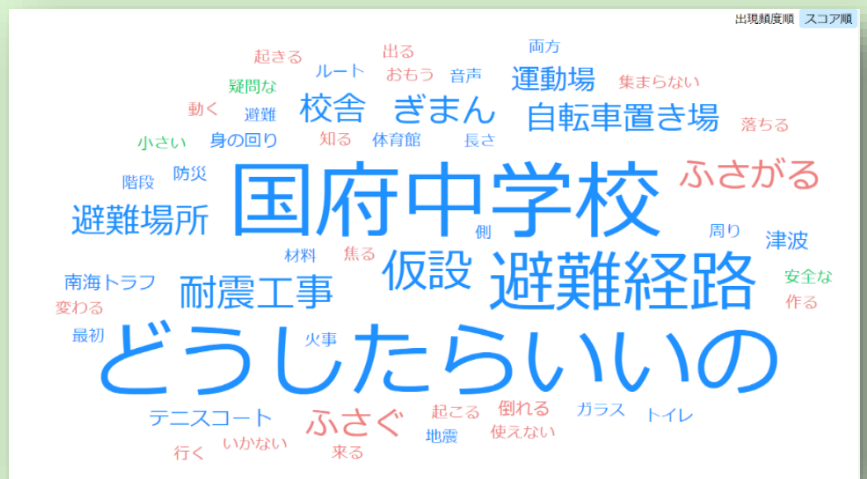
通学路、出かけた場所、日々の生活でも「どこが危ないか」「どうやって避難するか」などを意識して、いつどこで災害が起きても冷静に避難できるように対策することが大切とも考えられます。

記述アンケートのチャット GPT による要約

1 今回の避難訓練で、できた。よかったと思うことを書いてください。集団行動による避難訓練が成功し、参加者は静かに行動し、避難経路を理解し、迅速に避難することができた。地震や津波から命を守るための準備が整い、避難場所や避難経路が確認できた。指示に従い、真剣に取り組んだことで、安全に避難することができた。



●避難訓練で疑問や知りたいことは



記述アンケートのチャット GPT による要約

2 今回の避難訓練で、疑問に思ったことや知りたいことを書いてください。

文章全体を要約すると、地震や津波などの災害時における避難についての疑問や不安が述べられています。具体的には、避難経路や避難場所、仮設校舎の安全性、食料の準備、運動場やテニスコートへの避難の理由、被害者のサポート方法、災害時の行動などについての不安や疑問が記されています。

●疑問に思ったことや知りたいこと

疑問に思ったことには、たくさんの意見がありました。中でも多かった、1.運動場やテニスコートへの避難の理由 2. 災害時の行動 3.仮設校舎の安全性 4.食料の準備 5.被害者のサポート方法 についてまとめました。

1 運動場やテニスコートへの避難の理由

特徴(理由)…周りに割れるもの、たおれるもの、動くもの、落ちるものが教室や特別教室に比べて少なく、比較的安全性が高い。

2 災害時の行動

①避難経路の確保…ドアを開ける、窓を開けるなど(先生がいても先生がしてくれると思わないこと)

②姿勢を低くして頭を守る…だんごむしのポーズ、机の下に入り、机の脚を握る

③第一次避難場所へ避難…運動場に行く※先生がいなくても自ら行動！率先避難者になる！

3 仮設校舎の安全性

この仮設校舎を建てている会社のホームページには、「従来工法に匹敵する頑丈さと使用で地震などの災害に強い校舎として、重要度係数(建物の設計時に地震力を割増す係数のこと)を 1.25 倍で安全性を高めている」と書かれているので、地震に強いと思われる。

4 食料の準備

・家の場合…最低 3 日分、できれば一週間分※ローリングストック法を活用すること◎

(一人当たり)水…2ℓ 米…2kg が目安 他に…レトルトご飯 カップ麺 缶詰 汁物 野菜 お菓子など

・非常用持ち出し袋の場合…アルファ米 カップ麺 ビスケット チョコレート 乾パン 缶詰など

5 被害者のサポート方法 クラッシュ症候群に気を付ける！です。

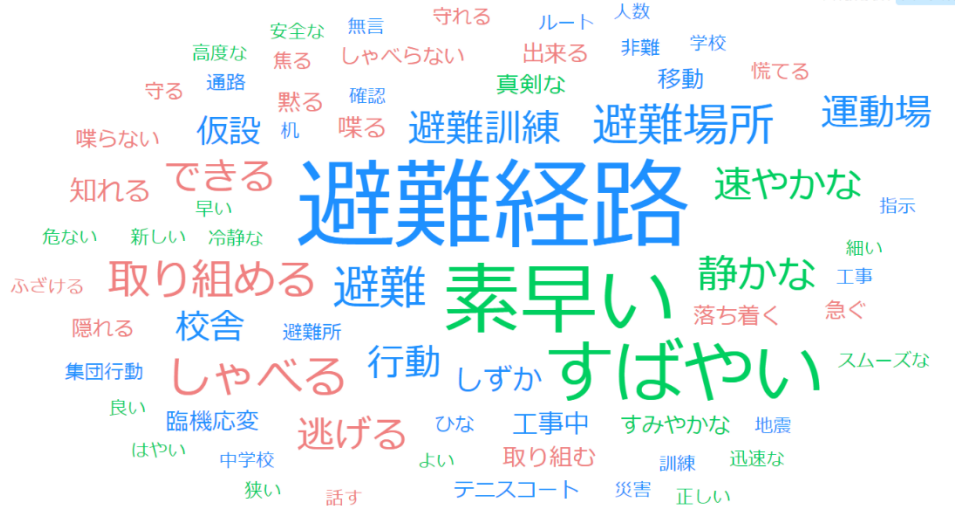
クラッシュ症候群とは…潰れた家屋などに筋肉が長時間挟まれて、細胞が壊死したときに助ける

※挫滅・壊死した場合、圧迫から開放されたあとに、壊死した筋肉からカリウムやミオグロビン、乳酸といった毒性物質が一気に全身に運ばれ、臓器に致命的な損害を及ぼすこと。

→防ぐために 2 時間以上挟まっていたり、圧迫部分が腫れている、感覚がなかったりする場合はむやみに助けず、レスキュー隊や救急隊を呼ぶことが大切。

ローリングストックとは普段から少し多めに食材、加工品を買っておき、使ったら使った分だけ新しく買い足していくことで、常に一定量の食料を家に備蓄しておく方法

出現頻度順 スコア順



小さいころから聞いてきた「おはしもち」ですが、とても大事なことです。基本的なことをしっかりとすることで、自分の命を守ることができる可能性が上がります。

訓練だと思って軽く考えるのではなく、災害発災時を想像しながら今持っている知識を最大限に活かせるようにしていきましょう。

記述アンケートのチャット GPT による要約

3 今回の避難訓練で、できなかったこと、これからの課題だと思うことを書いてください。

文章全体を要約すると、避難訓練を通して、避難行動の改善点や反省点を挙げています。参加者は、避難時にはしゃべらずに素早く行動すること、避難経路や避難場所を確認すること、静かに避難することの重要性を学びました。また、真剣に取り組むことや周囲をよく見ること、行動を迅速にすることが課題として挙げられています。今後は、より早く、静かに、冷静に行動することを心がけ、避難訓練を真剣に受けることが必要だと感じています。

●まとめ

「南海トラフ巨大地震が来ても、自分やおうちは大丈夫だと思いますか？」という質問で、去年「そう思う、思う」と答えた人が29%で、今年は23.7%だった。去年は大丈夫だと思っていた人が多かったけれど、今年は去年よりも減っています。つまり、「自分や家族が助からないかもしれない」、「南海トラフが怖い」などと考える人が多いということが予想できます。

このことから、自分や家族が助かるために、何をすればいいか考え、対策することが考えられるので、今後どんどん防災意識高まっていくことが期待されます。いつどこで起こるか分からない南海トラフ巨大地震、日々の生活から、避難経路や、備蓄品など、様々なことを家族と話し合い、地震が起きても助かる可能性が上がるように防災学習をすることが大切です。

3 防災学習倶楽部からの提案

●いつか来る災害に備えるためには

・今回の避難訓練をとおして私たちが学んだ事は4つあります。

- ①静かに素早く行動する事
- ②避難経路、避難場所を確認する事
- ③周囲をよく見る事
- ④真剣に取り組む事 です。

そしてこれからも継続するためには、定期的に避難訓練をすることと防災について正しく学んでいくことが大切です。災害はいつ起こるか分かりません。

4 防災学習倶楽部からのお知らせ

自分の命、家族の命、友達の命、南海トラフってなんだろ、この地域での危険な災害は何かそんなものに興味がある、知りたいと思う、やってみたいと思う その**アナタ!**私達と一緒に**防災**をやしましょう!

防災学習倶楽部は、国府の防災リーダーとなるために、研修で自分たちが学ぶだけではなく、子供向けにクイズを作ったり、紙芝居を作ったりして地域のために地域のいろいろな場所で活動しています。

興味のある方は私たちと防災をやしましょう!

同好会なので、他の部活動に入っても構いません。参加できるときに、自分ができることをやりましょう。それが、国府の未来をつくれます。

防災 Q&A

Q:一次避難場所と二次避難場所、避難所の違いは何ですか?

A:避難場所は、とりあえず、自分の命を守るために集まる場所のことです。

国府中学校の場合（南海トラフ巨大地震）

一次避難場所は、運動場

二次避難場所は、校舎が大丈夫なら、2階以上の教室

避難所は、自宅で生活できなくなった人が生活をする場所になります。体育館や南校舎が割り当てられます。

防災のことや地域のために活動したい人

防災学習倶楽部に所属しよう

同好会なので、兼部できます。

次のQRコード、リンクから登録してください。

防災学習倶楽部の活動予定などを送ります。

<https://forms.office.com/r/XRUzNC6xQs>

